

## 農業用水路目地・ひび割れ補修 1液ウレタン樹脂コーキング材

# ジックシール U-300

農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路編】(案) 平成24年、平成25年、平成27年 目地充填工法の品質規格 適合

耐候性に優れ、開水路を対象とした目地・クラックの補修にも使用できます。



- 用途
  - 農業用水路目地補修及びクラック補修
  - 共同構、ボックスカルバート、防火水槽などの目地
  - 耐候性を要求される各種屋外構造物の目地
- 特徴
  - 耐候性能が高く、暴露条件に強い耐久性を発揮します。
  - 「ノンブリード」タイプで、押し出し作業性に優れています。

### ●基本性状

項目		ジックシール U-300		試験方法
不揮発分(%)		96.0		90°C-3hr
比重		1.36		比重カップによる
タックフリータイム(hr)	35°C-50%RH	1.5		JIS A 1439(2004)
	23°C-50%RH	4		
	5°C-40%RH	10		
スランプ(50°C)		縦・横	0	
粘度	25°C	10rpm(Pa·s)	383	
		100rpm(Pa·s)	84.3	
		TI値	4.5	
	5°C	10rpm(Pa·s)	636	
		100rpm(Pa·s)	173.9	
		TI値	3.7	
				B型粘度計

### ●ジックシールU-300工法の品質

項目		成績		品質規格	
基本的性能	伸縮追従性	耐久性区分	適合	JISA5758 耐久性区分8020以上	
	付着性	強度保持率	適合	強度保持率60%以上(標準/水中浸漬)	
	耐候性	紫外線による劣化	サンシャイン 600時間:適合 サンシャイン1,200時間:適合	膨れ、ひび割れ、剥がれがないこと JSCE-K511(キセノン1,000時間又はサンシャイン600時間)	
	付着性	伸び率	標準状態	適合	伸び100%以上
			水中条件	適合	伸び100%以上
			低温条件	適合	伸び100%以上
	止水性	水圧による漏水	適合	水圧0.1MPa、3分間、漏水が認められないこと。	
	伸縮追従性	伸縮による剥離・破断	繰返し回数3,650回:適合 繰返し回数7,300回:適合	繰返し回数3,650回、剥離・破断のないこと	
	耐水性	吸水率	適合	吸水率10%以下	
形状安定性	50%モジュラ	適合	50%モジュラス、0.2N/mm <sup>2</sup> 以上		

※項目、品質規格は、農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】(案)による。

※耐候性のサンシャイン1,200時間と伸縮追従性の繰返し回数7,300回は、品質規格に規定は無く、任意に追加試験を実施したものである。

## ●使用方法

- ①目地の清掃、乾燥  
切粉やゴミを刷毛やウエスで除去します。前日に降雨、降雪があった場合は、接着面を十分に乾燥させます。
- ②バックアップ材の装填  
開口部まわりなど目地深さが深すぎる場合(10mm以上)は、目地幅より少し大きめのポリエチレン製のバックアップ材を装填して、目地深さが8~10mm程度になるように調整します。
- ③マスキングテープ張り
- ④Uプライマー(専用プライマー)塗布  
付属の刷毛などを用いて目地の小口面の左右それぞれ塗り残しがないように塗ります。塗りムラや塗り忘れは剥離の原因となるので注意して下さい。
- ⑤ジックシールU-300の充填
- ⑥へら押さえ  
(1)目地底に向けて十分に押さえることで隙間や気泡をなくすこと。  
(2)表面を平滑にしてシーリング材をきれいに仕上げること。
- ⑦マスキングテープ剥がし  
硬化が進んでから剥がすと目地際が汚くなるので必ず2時間以内に巻き取って下さい。また、プライマーを塗布した場合は、塗布後3分以内にマスキングテープを剥がして下さい。
- ⑧清掃と養生
  - ・薄く残ったシーリング材は、後々、白化現象を呈しますので、完全に拭き取って下さい。
  - ・充填したシーリング材は、硬化するまで触れないで下さい。
  - ・ホコリなどで汚れる恐れのある場合は、養生シートなどをかぶせて下さい。

## ●注意事項

- シリコーン系・変成シリコーン系などアルコール成分を発生する材料との同時使用は避けて下さい。
- 開封後は、出来るだけその日の内に使い切ってください。
- 直射日光を避けた冷暗所に保管して下さい。
- 接着部材に合わせ、プライマーをご使用下さい。
- 接着面は、埃・油分・水分を除去し、乾燥させて下さい。

荷姿:ジックシールU-300 8.1kg/缶×2(6ℓ/缶×2)

Uプライマー 0.48kg/缶

※防水性能を十分に発揮・維持させるため必ず専用プライマー(Uプライマー)をご使用下さい。



■本社/〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号  
TEL:078-974-1141 FAX078-974-7786

■東京支店/TEL:03-6803-2287 FAX:03-6803-2297

■横浜営業所/TEL:045-307-4817 FAX:045-307-4818

■大阪営業所/TEL:06-6486-9797 FAX:06-6486-9798

■四国営業所/TEL:089-905-3833 FAX:089-905-3834

■技術研究所/TEL:078-920-1115 FAX:078-920-1116

■東北営業所/TEL:022-796-5312 FAX:022-796-5313

■中部営業所/TEL:052-433-1350 FAX:052-433-1351

■中国営業所/TEL:082-831-7505 FAX:082-831-7506

■九州営業所/TEL:092-512-2248 FAX:092-541-6331